

平成 24 年度事業報告書

公益財団法人 千葉県産業振興財団

第 1 事業の概要

1 中小企業の経営革新並びに新事業創出の支援に関する事業

当財団は、中小企業支援法に基づき中小企業支援の「指定法人」として千葉市から指定を受けるとともに、中小企業新事業活動促進法に基づき新事業支援体制の「中核的支援機関」として千葉市から認定を受けており、これまでに引き続き各支援機関との連携を図りながら、設立の趣旨に基づき、中小企業の経営革新並びに新事業創出の各種支援事業を展開した。

「経営・技術支援事業」は、マネージャー等による総合的な相談・助言のほか、専門家の派遣等による経営・技術面の課題解決を図り、中小企業の経営革新を支援した。また、商店街に専門のアドバイザーを派遣し、商店街の活性化及び経営課題について、診断・助言等を行った。

「創業支援事業」は、千葉県ビジネス支援センター本館及び富士見分館インキュベーター施設の管理をはじめ、創業者に対する総合的支援をインキュベーションマネージャーを中心に行った。

「情報提供事業」は、各種支援制度・事業の案内をホームページやメールマガジンを活用し、迅速な情報提供を行った。

「人材育成事業」は、中小企業の経営革新及び市内での創業を目指す人材を育成するための各種研修のほか、支援機関との連携によるセミナーを開催した。

「交流促進事業」は、企業と大学関係者及び企業間の連携交流を促進し、研究開発から事業化に向けた支援を行った。また、第 11 回となる「ベンチャー・カップ CHIBA」を開催し、「一般部門」「学生部門」「コミュニティビジネス部門」の 3 部門を設け、優秀なビジネスプランについて発表の場を提供するとともに、事業化に向けた支援を行った。

「販路拡大支援事業」は、優秀な技術や独創的なアイデアを活用した製品・サービス等の情報について、新たな販路拡大につなげるため、希望する見本市等への出展を支援した。また、首都圏全体の産業国際競争力の強化に向けて、九都県市連携による商談会を実施した。

「受託その他の事業」のうち、「千葉県ビジネス支援センター管理運営事業」については、指定管理者として施設を良好な状態に保つとともに、積極的な広報による利用促進に努めた結果、利用者は昨年度通期の実績を上回った。

2 中小企業勤労者等に対する福祉事業

市内の中小企業の事業主と従業員の福祉の向上を図るため、充実した福利厚生サービス事業を展開するとともに、中小企業に対し、千葉県勤労者福祉サービスセンターへの加入促進事業を推進した。

また、より多くの会員の意見を事業体系に反映させるため、全会員に対し事業満足度アンケート調査を行うとともに、イベント参加者へもアンケート調査を行い、業務改善を図りながら、事業内容の見直しを随時行い、会員へのサービス拡充を図った。

「生活安定事業」は、中小企業勤労者の在職中の生活安定を目指し、融資のあっ旋を行うとともに、従業員及び経営者を対象にした退職金制度について、勧誘時や広報誌等を通じて加入あっ旋を行った。

「健康維持増進事業」は、会員の健康管理や健康維持増進を図るため、人間ドックの利用助成や健康づくりに役立つ教室等を行った。また、会員の健康管理の支援を拡充するため、新たに子宮がん検診助成事業を行うとともに、会員アンケート結果を踏まえ、スポーツ教室を新たに実施した。

「自己啓発・余暇活動事業」は、会員の自己啓発・余暇活動の充実を図るため、宿泊・施設利用の助成やチケットのあっ旋販売を行うとともに、一般の方も参加可能な自主事業を行った。また、会員アンケート結果を踏まえ、図書カードや映画観賞パスポート券等のあっ旋販売、推奨講座や推奨ツアーへの参加助成、カルチャー系教室を新たに実施した。

「福祉情報提供・普及啓発事業」は、事業内容や各種手続き等の周知を図るため、ホームページをリニューアルするとともに、ガイドブック及び広報誌「ゆるり」において、よりわかりやすい情報提供に努めた。また、広報誌「ゆるり」に、当財団が実施している事業等を紹介するコーナーを新たに設け、当財団の情報提供も積極的に行った。なお、事業内容を広く紹介するため、引き続き公共施設等での配布も行った。

「共済給付事業」は、会員の福祉向上を目的とした慶弔給付事業を行った。また、給付要件を満たしている場合に通知を行い、サービス内容を周知することで退会防止にも努めた。

平成 24 年度においては会員 5,000 人を目標に、新規創業者や未勧誘事業所等に対し、加入勧奨ダイレクトメールを送付するとともに、会員加入促進の協力団体等の協力を得て、積極的に加入促進活動を展開することにより、会員数の増加につながった。

第2 事業内容

1 中小企業の経営革新並びに新事業創出の支援に関する事業

(1) 経営・技術支援事業

ア 相談事業【指定管理事業】

経営課題や法律問題について、マネージャー・専門相談員・弁護士等による相談・助言を行った。また、昨年度に引き続き、年末には臨時相談窓口を開設した。

相談件数	内 訳	
	主な目的別	主な内容別
1,714 件	□ 創業 ……886 件	□ 資金 ……378 件
	□ 経営革新…141 件	□ 経営全般 ……210 件
		□ マーケティング…255 件

※ 年末臨時相談における相談件数 3 件(上記相談件数 1,714 件に含む。)

イ 専門家派遣事業【補助事業】

経営・技術課題について、財団に登録された各分野の専門家を派遣し、課題解決のためのアドバイスや技術支援などを行った。

派遣件数	派遣日数
2 件	23 日

ウ 認証取得支援事業【補助事業】

ISO、エコアクション 21 の各種認証規格の導入に必要となる社内体制の整備や諸問題に対して、財団に登録された専門家を派遣し、円滑な認証取得を支援した。

派遣件数	派遣日数
3 件	28 日

エ 商業アドバイザー派遣事業【補助事業】

商店街の活性化を図るため、専門知識を有するアドバイザーを現地に派遣し、商店街が実施する事業に対して診断・助言等を行った。

区 分	派遣件数	派遣日数
商店会	6 件	52 日
個 店	0 件	0 日

(2) 創業支援事業

ア インキュベーション支援事業【指定管理事業】

(ア) インキュベーションマネージャーによる支援

創業前における事業計画のブラッシュアップや創業後のフォロー等を行うほか、インキュベーション施設入居者をはじめとした創業者に対する支援を行った。

(イ) 店舗型ビジネスインキュベーター施設入居者向けアドバイザー派遣

施設入居者に対して、定期的に専門家を派遣し、店舗販売に関する改善すべき事項について実地指導を行った。

実施期間	実施回数
8～3月	8回

(ウ) 店舗型ビジネスインキュベーター施設入居者向けセミナー

施設入居者に対して、施設卒業後の安定した事業経営を支援するため、店舗経営者として必要な経営知識の習得を目的としたセミナーを実施した。

実施期間	実施回数
12～3月	4回

イ インキュベーター室管理運営事業【指定管理事業】

(平成 25 年 3 月末現在)

名称			入居可能 室数(A)	使用許可 済室数(B)	空室 (A-B)	使用許可 率(B/A)
千葉県 ビジネス 支援セン ター	本館	ビジネス インキュベーター室	14室	12室	2室	85.7%
		プレインキュベーター室 (ブース)	4室	3室	1室	75.0%
	富士見 分館	ビジネス インキュベーター室	8室	5室	3室	62.5%
		店舗型ビジネス インキュベーター室	6室	5室	1室	83.3%
計			32室	25室	7室	78.1%

ウ 創業支援施設管理運営事業【補助事業】

(平成 25 年 3 月末現在)

名称		入居可能 室数(A)	使用許可 済室数(B)	空室 (A-B)	使用許可 率(B/A)
千葉県ビジネス 支援センター中 央分館	(愛称) CHIBA-LABO				
		<input type="checkbox"/> 開設日：平成 25 年 3 月 3 日 <input type="checkbox"/> 施設概要：オープンスペースの「ワーキングスペース」に 30 席、セミナールームを併設した「カフェスペース」に 16 席を設置。 <input type="checkbox"/> 利用者：3名			

エ 医工連携創業支援事業【受託事業】

千葉大亥鼻イノベーションプラザのインキュベーションマネージャー配置に関する業務を受託した。

(3) 情報提供事業

ア 産業情報提供事業【指定管理事業】

財団の支援事業に関する情報をはじめ、各種産業情報をインターネット等により発信・提供するとともに、関連支援機関等と連携を図りながら情報提供を行っ

た。

また、ビジネス支援センター内の情報センターを活用して情報発信に努めた。

(ア) ホームページによる情報提供

新着情報の掲載数	元気企業の掲載数	セミナー等の情報掲載数	ホームページからのセミナー等申込件数
164 件	23 件	16 件	176 件

(イ) メールマガジンによる情報提供(月 1 回配信)

配信件数
12,400 件

(ウ) 情報センターでの情報発信

「ベンチャー・カップ CHIBA」受賞企業紹介、元気企業紹介、新事業支援機関紹介等

(4) 人材育成事業

ア ビジネススクール事業【指定管理事業】

(ア) ベーシック講座

既存中小企業の経営革新や市内での創業を促進するため、取り組みのポイントや留意点などを体験的に学び、人材の掘り起こしにつながる基礎講座を実施した。

a 経営革新基礎講座

テーマ：事例から学ぶ経営革新への取組み

実施日	会場	参加者
2月27日(水)	ビジネス支援センター 会議室	14人

(イ) パワーアップ研修

情報技術を活用した経営の合理化、販路拡大に向けた営業力の強化、創業に必要な知識の習得などを目指し、経営革新や創業を支援するための実践的な研修を実施した。

a パソコン研修

テーマ：仕事ですぐに役立つPC講座

実施日	会場	参加者
3月15日(金)	ビジネス支援センター パソコン研修室	3人
3月22日(金)		2人
3月29日(金)		3人

b 創業者研修講座

テーマ：一粒で二度オイシイ!コミュニケーションセミナー
～交流会付き～

実施日	会場	参加者
3月16日(土)	ビジネス支援センター 会議室	7人
3月30日(土)		6人

テーマ：起業・開業はじめの一步

実施日	会場	参加者
3月26日(火)	ビジネス支援センター 会議室	16人
3月28日(木)		15人

(ウ) ニーズ対応講習

重点施策への取組みをはじめ、中小企業等の補助金獲得や業界等が抱える専門・個別課題に対し、能力開発などニーズに即応した企業等の人材育成を支援する講習を実施した。

a 研究開発講習

テーマ：技術・開発者向けプレゼンテーションセミナー

実施日	会場	参加者
4月25日(水)	ビジネス支援センター 会議室	23人

テーマ：顧客開拓パワーアップセミナー

実施日	会場	参加者
6月11日(月)	ビジネス支援センター 会議室	12人

テーマ：IT情報管理セミナー

実施日	会場	参加者
9月6日(木)	ビジネス支援センター 会議室	26人

テーマ：部下を動かす「OJT」7つの解決法

実施日	会場	参加者
2月6日(水)	ビジネス支援センター 会議室	延べ18人
2月13日(水)		

b 連携・課題対応講習

テーマ：組込ソフトウェア市場と求められる技術についての講習

実施日	会場	参加者
2月19日(火)	ビジネス支援センター 会議室	24人

イ 商業者育成講座事業【指定管理事業】

商店街リーダーや商業後継者の育成を図るため、商業関連のテーマで研修会・講演会を開催した。

(ア) 研修会(テーマ：戦略的なプロモーションでお客様との共感を生み出す)

実施日	会場	参加者
10月24日(水) 31日(水)	ビジネス支援センター 会議室	延べ24人

(イ) 講演会(テーマ：商店街における買い物弱者支援の進め方
～高齢社会における地域商業の役割を考える～)

実施日	会場	参加者
2月20日(水)	ビジネス支援センター 会議室	16人

ウ 連携事業【指定管理事業】

関係支援機関等と連携・協力し、中小企業者・創業者等の経営基盤の強化を目的としたセミナーを開催した。

(ア) 農商工連携セミナー[千葉県産業振興センターとの共催]

実施日	会場	参加者
2月8日(金)	ビジネス支援センター 会議室	49人

(5) 交流促進事業

ア 連携交流事業【補助事業】

(ア) ビジネス交流会事業

事業者・大学関係者等によるテーマごとのビジネス交流会を開催し、産学や産産による連携の機会とした。

a 第1回

実施日	会場	参加者	内容
7月17日(火)	ビジネス支援センター 会議室	19人	「今からはじめる事業承継」をテーマに、少子高齢化による後継問題等、中小企業が生き残るための秘訣についての講演と事例を交えたセミナー並びに参加者による意見・情報交換

b 第2回

実施日	会場	参加者	内容
8月9日(木)	ビジネス支援センター 会議室	41人	「地域連携による地域商業の活性化」をテーマとした講演と、「大学との連携」「自治会との連携」によるまちづくりについての事例発表並びに参加者による意見・情報交換

c 第3回

実施日	会場	参加者	内容
9月13日(木)	ビジネス支援センター 会議室	64人	「震災復興への新しい課題・需要と千葉企業の取組み」をテーマに、「復興の現状の取組」についての講演と被災地復興に取り組む2企業による事例発表並びに参加者による意見・情報交換

d 第4回

実施日	会場	参加者	内容
1月22日(火)	ビジネス支援センター 会議室	31人	「大学シーズの活用による新事業への展開」をテーマに、「千葉大学における医工学分野の研究開発シーズ」の発表、「ものづくり IT 企業による医療課題解決型ビジネス」と題した産学連携・医工連携の推進に関する事例発表並びに参加者による意見・情報交換

(イ) オープンイノベーション事業

中小・ベンチャー企業等の技術交流並びに新技術の創出を図るため、オープンイノベーションセミナーの実施や事後支援フォロー活動を行った。

テーマ：未利用開放特許の活用に関する説明会 -コーディネーター向け-

実施日	会場	参加者
9月14日(金)	ビジネス支援センター 会議室	22人

テーマ：未利用特許・技術活用セミナー

実施日	会場	参加者
10月15日(月)	ビジネス支援センター 会議室	23人

テーマ：コーポレートベンチャーキャピタルセミナー

実施日	会場	参加者
10月22日(月)	ビジネス支援センター 会議室	28人

(ウ) 海外展開支援事業

千葉市内の優れた技術・製品・サービス等を持つ企業に対して、新たな販路開拓、海外企業との連携による経営強化、海外市場への進出等様々な海外展開の可能性について関係機関と連携し情報提供を行った。

a 海外セミナーの実施

テーマ：中小企業向け海外展開戦略セミナー
～シンガポール・台湾・ミャンマー編～

実施日	会場	参加者
7月12日(木)	ビジネス支援センター 会議室	41人

テーマ：第1回アジア経済研究所共催セミナー

実施日	会場	参加者
9月18日(火)	ビジネス支援センター 会議室	27人

テーマ：中小企業向け海外展開戦略セミナー

「イスラエルの起業精神と技術革新に学ぶ」

実施日	会場	参加者
11月27日(火)	ビジネス支援センター 会議室	20人

テーマ：中小企業向け海外展開戦略セミナー

「韓国・シンガポール連携セミナー」

実施日	会場	参加者
12月4日(火)	ビジネス支援センター 会議室	21人

テーマ：中小企業向け海外展開戦略セミナー

「インドビジネス展開セミナー」

実施日	会場	参加者
2月4日(月)	ビジネス支援センター 会議室	15人

b 海外関係機関との連携

財団法人京畿テクノパーク、韓国技術ベンチャー財団と業務協力に関する協約を締結した。

(エ) 情報交流事業

千葉市及びその周辺に本社を置く中堅・中小企業の経営者、又はそれに準ずる方、地元金融機関等を対象とした定期的な交流を行い、勉強会や情報交換会などの活動を通し、企業の課題解決と企業間及び財団との連携の強化を図った。

イ 産学共同研究促進事業【補助事業】

産学共同研究による研究開発や実証試験、試作品の製作など、事業化に向けた支援を行った。

No.	事業者名[業種]	連携大学等	研究テーマ
1	AKJ グローバルテクノロジー(株) 所在地：中央区中央 [医薬品製造・販売業]	東京医科歯科大学	躁うつ病治療薬の血中濃度自動分析キットの開発
2	日環科学(株) 所在地：中央区汐見丘 [サービス業]	千葉大学大学院融合科学研究科	植物の生体防御機能を活性化する新規農業用微生物資材の開発
3	(株)セリッシュエフディー 所在地：中央区亥鼻 [サービス業]	東京大学生産技術研究所	ラボ・オン・チップ型 QISH 自動反応装置の開発
4	(株)三樹工業 所在地：稲毛区山王町 [製造業]	筑波大学人間総合科学研究科・陽子線医学利用研究センター、放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター	医療用放射線による患者身体被ばく線量分布をリアルタイムで表示する装置の製作

ウ アイデアコンペ事業【補助事業】

第11回「ベンチャー・カップ CHIBA」を「一般部門」「学生部門」「コミュニティビジネス部門」の3部門により実施した。

独創的な事業プランや技術を公募し、優秀なものにビジネスプラン発表の場を提供するとともに、マッチング支援及び必要に応じて事業化の支援を行った。

ビジネスプラン発表会 11月19日(月) 参加者 135人

「一般部門」

賞	企業名	発表ビジネスプラン
グランプリ	合同会社 A-CLIP 研究所 所在地：中央区亥鼻	難治性血管炎バイオマーカーANCA抗体のマルチ迅速測定キット研究開発
準グランプリ	東京ベイ通信株式会社 所在地：中央区新町	スマートフォンを利用した団体行動(旅行)に適した『スマート旅友ポン』の開発・販売
優秀賞	有限会社エムエスイー 所在地：稲毛区長沼原町	常時も、非常時にも活躍する大容量蓄電能力を持った独立型太陽光発電照明セット
	株式会社アカリネ 所在地：中央区弁天	コア・プロダクトによる Made with Japan 世界展開

	有限会社チバマシナリー 所在地：茂原市本納	帆船翼風力発電機の開発、製造、販売
--	--------------------------	-------------------

「学生部門」

賞	企業名	発表ビジネスプラン
グランプリ	横浜薬科大学 荒川 快生 所在地：東京都杉並区	家助 (Kasuke)

「コミュニティビジネス部門」

賞	企業名	発表ビジネスプラン
コミュニティ ビジネス賞	三立機械工業株式会社 所在地：稲毛区山王町	自動車用廃電線などの品位の低い廃電線のリサイクル事業

(6) 調査研究事業

ア 地域産業資源発掘・調査事業【補助事業】

優れたビジネスプランを持つ市内事業者を随時調査・発掘し、創業支援事業やアイデアコンペ事業など、新たな事業の創出支援活動に結びつけた。

また、これまでに財団の支援事業を活用した事業者に対しては、その後の事後調査及び効果測定に可能な限り努め、今後の継続支援に対する考え方並びに新たな支援施策の策定のための基礎資料とした。

(7) 販路拡大支援事業【補助事業】

ア 新規市場開拓支援事業

優秀な技術や独創的なアイデアを活用した製品・サービス等の情報について、新たな販路拡大につなげるため、希望する見本市等への出展を支援した。

またインキュベート施設の入居企業を対象とした販路開拓支援を行った。

支援件数
10件

イ 合同商談会事業

首都圏全体の産業国際競争力の強化に向けて、九都県市連携による商談会を実施した。

実施日	会場	参加企業数
1月31日(木)	さいたまスーパーアリーナ	264社

(8) 資金融資事業

ア 資金融資事業【受託事業】

千葉市が実施する資金融資事業のうち、受付・調査業務等を受託した。

受付件数	融資実績	
	実行件数	実行金額
3,514 件	3,214 件	52,237,008,000 円

(9) 受託その他の事業

ア 特許等取得支援事業【補助事業】

特許権の取得に際し、弁理士費用の一部を支援した。

支援件数
7 件

イ 千葉市ビジネス支援センター管理運営事業【指定管理事業】

市から管理の指定を受けた施設である千葉市ビジネス支援センターについて、利用者が常時安全で快適に利用できるよう管理運営を行うとともに、施設利用の促進に努めた。

会議室	室数	利用可能日	利用者数	合計
13階会議室等	6室	月～土曜日・祝日 (年末年始は除く)	109,043人	193,596人
14階商談室等	2室	月～金曜日 (年末年始は除く)	11,129人	
15階会議室等	5室	年末年始を除く日	73,424人	

ウ 千葉市内陸企業連合会関係事務【受託事業】

同連合会が実施する研修会等の開催業務を受託した。

(10) 事業間接費

ア 事業可能性評価委員会運営費【補助事業】

主要な支援事業を実施するにあたり、事業可能性評価委員会において支援対象企業等の審査・評価を行った。

開催回数	委員	主な議題
7回	外部有識者及びチーフ マネージャー9人	インキュベート施設入居審査、産学共同研究テーマの採択など

イ 支援機関連携強化費【補助事業】

財団を中心とするワンストップサービス体制の充実を図るため、各支援機関と事業の連携促進等について意見交換を行った。

また、ビジネス支援センター13階の情報センター内「千葉市新事業支援体制(地域プラットフォーム)コーナー」にて、各支援機関の情報提供を行った。

名 称	実施日	参加者
千葉市新事業支援機関 連絡会議事務部会	3月14日(木)	千葉市新事業支援体制を構成する15機関の事務部会 担当者 16人

2 中小企業勤労者等に対する福祉事業

(1) 生活安定事業

ア 融資あっ旋事業【自主事業】

(ア) 生活安定資金融資あっ旋

生活安定資金(教育・出産・結婚・医療・葬祭・災害復旧・育児休業・車購入・物品購入・住宅関連資金等)の融資あっ旋を行った。

融資件数	申請件数
3 件	13 件

イ 老後生活安定事業【自主事業】

(ア) 中小企業退職金共済制度加入あっ旋

独立行政法人勤労者退職金共済機構が運営する、中小企業の社員向けの退職金制度である「中小企業退職金共済制度(中退共制度)」について、会員勧誘時や広報誌等を通じて制度の説明を行い、加入あっ旋を行った。

加入件数
1 件

(イ) 小規模企業共済制度加入あっ旋

独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営する、小規模企業の個人事業主や会社等の役員向けの退職金制度である「小規模企業共済」について、会員勧誘時や広報誌等を通じて制度の説明を行い、加入あっ旋を行った。

加入件数
2 件

(ウ) 全福ネット入院あんしん保険加入あっ旋

一般社団法人全国中小企業勤労者福祉サービスセンターの会員を対象とした「入院あんしん保険(団体総合生活保険)」について、会員勧誘時や広報誌等へ募集告知を行った。

(2) 健康維持増進事業

ア スポーツ施設等の割引あっ旋・利用助成事業【自主事業】

(ア) 湯けむり横丁利用券あっ旋

会員のリフレッシュと健康増進を図るため、特別価格で日帰り温泉施設「湯けむり横丁みはま」施設利用券のあっ旋販売を同年行った。

販売件数
417 件

(イ) 家庭常備薬あつ旋

会員の健康維持を図るため、割引価格で家庭常備薬のあつ旋販売を行った。

実施日	販売件数
7月1日(日)～31日(火)	348件
1月4日(金)～31日(木)	410件

イ レクリエーション・健康事業【自主事業】

健康で豊かな生活を支援するため、会員間の親睦、健康づくりに役立つ健康増進事業を実施した。

事業名	実施日	場 所	参加者	
山登り教室 ※	10月27日(土)	南アルプス入笠山 (長野県)	34人	
	1月27日(日)	南房総富山(千葉県)	40人	
ボウリング大会	1月18日(金)	JFE千葉リバーレーン	36人	
スポーツ教室	アロマ&リフレクソロジー教室	6月7日・14日・21日・28日(木)	千葉ポートアリーナ	延べ47人
	アンチエイジングピラティス教室	2月14日・21日・28日・3月7日(木)	千葉ポートアリーナ	延べ38人

※ 公益財団法人船橋市中小企業勤労者福祉サービスセンター及び社団法人野田市中小企業勤労者福祉サービスセンターと共同開催

ウ 健康診断等の助成事業【自主事業】

(ア) 人間ドック利用助成

会員の健康管理のため、人間ドックの自己負担費用の一部助成を行った。

種 類	利用資格	助成件数
1泊2日コース	会員(資格取得後1年以上)	8件
	会員(資格取得後1年未満)	1件
日帰りコース	会員	458件

(イ) 乳がん・子宮がん検診助成

会員の健康管理のため、乳がん・子宮がん検診の自己負担費用の一部助成を行った。

なお、平成24年度からは、新たに子宮がん検診も助成対象とした。

種 類	助成件数
乳がん検診	69件
子宮がん検診	56件

(3) 自己啓発・余暇活動事業

ア 割引提携事業【自主事業】

(ア) 会員証提示割引事業

会員及び登録家族の自己啓発・余暇活動の充実を図るため、会員証の提示により割引価格で利用ができるように、各種施設と割引協定契約を締結した。

割引協定契約施設数
117 件

イ 施設利用助成事業【自主事業】

会員及び登録家族の自己啓発・余暇活動の充実を図るため、各種施設を利用した際の費用の一部助成を行った。(単位：件)

助成の種類	助成件数
契約施設利用券(※1)	10,168
はり・きゅう・マッサージ利用券(※2)	11
東京ディズニーリゾート特別利用券	1,494
宿泊利用	4,000
レストラン利用	317
合計	15,990

※1 契約施設利用券の内訳 (単位：件)

No.	施設名	件数
1	鴨川シーワールド	212
2	りんどう湖ファミリー牧場	41
3	マザー牧場	169
4	那須ハイランドパーク	42
5	ティ・ジョイ蘇我	2,604
6	スパリゾートハワイアンズ	20
7	稲毛海浜公園プール	309
8	酒々井ちびっこ天国	54
9	横浜・八景島シーパラダイス	103
10	川村記念美術館	23
11	千葉市美術館	27
12	京成シネマチェーン	1,843
13	千葉ポートタワー	52
14	千葉劇場	36
15	シネプレックス幕張	1,204
16	千葉市動物公園	368

17	千葉ポートサービス	23
18	アクアリンクちば	78
19	ハンターマウンテン塩原	17
20	富士急ハイランド	38
21	スパビューナ蘇我	507
22	シネマックスちはら台	1,259
23	千葉市科学館	65
24	会津高原たかつえスキー場	4
25	セントレジャー舞子スノーリゾート	18
26	横浜ランドマークタワー	6
27	ルミネ the よしもと	2
28	理容店	250
29	ドラゴンファーム	292
30	まーちゃん農場	362
31	ゼクシス千葉	7
32	高根ぶどう園	17
33	ホキ美術館	48
34	みはる野いちご園	27
35	ミリアルリゾートホテルズ	3
36	うたゆの宿	8
37	ぐりんぱ	7
38	伊豆シャボテン公園	2
39	伊豆ぐらんぱる公園	4
40	城ヶ崎遊覧船	9
41	ホテルニューオータニ幕張	4
42	石打丸山スキー場	4
合 計		10,168

※2 はり・きゅう・マッサージ利用券の内訳 (単位：件)

No.	施設名	件数
1	都賀光明堂治療院	2
2	西千葉鍼灸治療院	6
3	桑原鍼灸接骨院	3
合 計		11

ウ 入場券等割引あつ旋事業【自主事業】

会員の自己啓発・余暇活動の充実を図るため、各種チケット等の割引あつ旋販売を行った。(単位：件)

あつ旋の種類	販売件数
千葉ロッテマリーンズ年間指定席	677
ジェフユナイテッド千葉年間指定席	81
アフター5クラブマガジン掲載チケット	129
ジェフグルメカード	578
波奈グループぐるめ券	216
トイカード(こども商品券)	106
クリスマスケーキ	90
クオカード	168
図書カード	200
映画観賞パスポート等	21
広報誌「ゆるり」掲載チケット	540
合 計	2,806

エ 生涯学習等助成事業【自主事業】

会員及び登録家族の生涯学習及び余暇活動の充実を支援するため、NHK 学園及び各種教育機関の講座受講費用、推奨講座及びあつ旋ツアー参加費の一部助成を行った。(単位：件)

助成の種類	助成件数
NHK 学園生涯学習通信講座	0
資格取得講座	12
野菜作り講座	40
あつ旋ツアー	43

オ 自主企画事業【自主事業】

会員及び事業所間の交流を深める機会の提供及び、独身会員に対し市域を超えた出会いと交流の場の提供並びに、会員及び登録家族の余暇活動の充実・自己啓発活動を支援するため、イベント・教室を開催した。(単位：人)

事業名	実施日	場 所	参加者
異業種交流会	7月20日(金)	三井ガーデンホテル千葉	113
	12月6日(木)	CHIBA SKY WINDOWS 東天紅	84
独身者交流会 ※	9月1日(土)	フローラ西船	31

カルチャー系教室	カービング教室	8月19日(日)	千葉県ビジネス支援センター	18
	親子料理教室	8月26日(日)	ホームメイド協会千葉教室	10
	料理教室	11月11日(日)	千葉県蘇我勤労市民プラザ	13
	手作りケーキ作り教室	2月6日(水)	ホームメイドクッキング千葉教室	11

※ 公益財団法人船橋市中小企業勤労者福祉サービスセンターと共同開催

(4) 福祉情報提供・普及啓発事業

ア 福祉情報提供事業【自主事業】

会員に対し、事業内容の周知を図るため、ホームページをリニューアルするとともに、広報誌等による情報提供を行った。

なお、会員以外の一般の方へもっと勤労者福祉サービスセンター事業を知ってもらうために、広報誌「ゆるり」を各種公共施設で配布するとともに、ホームページ等により情報発信を行った。

情報提供の種類	発行回数	発行部数
ガイドブック	1回	5,500部
広報誌「ゆるり」	6回 5・7・9・11・1・3月	各25,000部
ゆるりぷらす	1回	25,000部
アフター5クラブマガジン	12回	会員1人1部
全福ネットガイドブック	1回	750部
ホームページ	随時	—

イ 普及啓発事業【自主事業】

勤労者福祉サービスセンター事業の普及啓発を図り、新規会員の加入促進及び退会防止を図った。

平成24年度会員数、事業所数の入退会状況

新規入会		退会		増減		3月末現在	
会員数	事業所数	会員数	事業所数	会員数	事業所数	会員数	事業所数
630人	62事業所	575人	27事業所	55人	35事業所	4,507人	662事業所

(ア) 広報の実施

新規会員獲得を図るため、会員募集に関する広告を掲載し、協力団体の主催する会合やイベントに参加し、勧誘活動や勧誘チラシの配布を行った。

区分	内容
広告	千葉日報「暑中あいさつ広告」「千葉の親子三代夏祭り広告」
	千葉市観光協会「千葉とっておき 2013」「Web 版千葉とっておき」
	千葉市商店街連合会「千葉市商業祭プログラム」「市商連だより」

(イ) 加入促進活動

社団法人千葉市食品衛生協会、社団法人千葉東青色申告会、社団法人千葉県調理師会千葉支部千葉市調理師会、社団法人千葉県宅地建物取引業協会千葉支部等の協力を得て、積極的に PR を行うなど、一層の新規事業所の拡大に努めた。

また、新規創業者及び未勧誘事業所等の情報収集を行い、加入勧奨ダイレクトメールの送付を行い、新規事業所の加入促進活動を積極的に展開した。

(ウ) 未加入事業所紹介キャンペーンの実施

会員に新たな入会者を紹介していただく、1社1企業紹介運動を継続して行い、会員紹介により17事業所を新たに獲得した。

(エ) 退会防止対策

会員事業所訪問時に会員にサービス内容の説明を適宜行い、会員のサービス利用を高めるためのアフターフォローを徹底し、併せて会員の意見収集を行うことに努めた。

(オ) 会員アンケートの実施

会員の意見・要望をよりダイレクトに事業内容に反映するため、全会員に対し、事業満足度アンケート調査を行うとともに、イベント終了時に参加者へのアンケート調査を行い、業務改善を図った。

(5) 共済給付事業

ア 共済給付金支給事業【自主事業】

会員の福祉向上を目的とした各種の慶弔給付を行った。

(単位：件)

給付の種類	給付内容	給付件数	
祝金	結婚祝金	90	
	出産祝金(会員または配偶者)	124	
	子の入学祝金(小・中学校)	274	
	永年勤続祝金	10年	154
		20年	80
30年		33	

見舞金	傷病見舞金(休業 14 日以上)		54
	障害見舞金	交通事故	1
		不慮の事故等	1
	重度障害見舞金	71 歳未満	0
		71 歳以上	0
	住宅災害見舞金	火災等	0
自然災害		2	
同居親族の死亡		0	
死亡弔慰金	会員(交通事故)	71 歳未満	0
		71 歳以上	0
	会員(不慮の事故)	71 歳未満	0
		71 歳以上	0
	会員(上記以外)	71 歳未満	5
		71 歳以上	3
	配偶者		8
子		2	
親(実・継・養・義)		90	
退会餞別金	在会 5 年以上		71
	在会 10 年以上		25
還暦・古希祝	60 歳を迎える会員		65
	70 歳を迎える会員		23
合 計			1,105